

教育目標「考える子 思いやりのある子 たくましい子」



せんだんの木



伊勢崎市立茂呂小学校 学校だより No. 3 令和6年6月3日

6月に入り、梅雨入りも近づき、雨の日の過ごし方、豪雨や落雷、熱中症への対応が必要な時期になりました。交通安全を含め、安全・安心な学校生活が送れるよう努めていきます。

さて、先月は授業参観・懇談会と二者面談を行いました。お子さんの学校での様子、学級の様子はいかがでしたか。引き続き各学級では、「ほめる」「認める」「励ます」支援で、「互いに認め合い、一人一人が輝く学級づくり」に取り組んでいきます。今後ともご家庭と協力しながら子供たちの指導にあたっていききたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

また、本日はプール開きでした。先月、「自分たちの学校は自分たちでよりよくする」という気持ちで6年生がプール清掃を行ってくれました。そのおかげできれいなプールで思い切り活動ができます。6年生の皆さんに感謝します。「自分からチャレンジ、みんなでチャレンジ」という姿勢で水泳に取り組み、元気に活動する姿を期待しています。

【6月は「食育月間」】

食育基本法に基づいて平成18年から始まった「食育月間」。子供のうちに健全な食生活の習慣を身に付けることは、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性をはぐくんでいく基礎になります。

伊勢崎市では学校給食において、例えば、「つなぐ つながる いせさきの食育（学校給食いせさきづくしの日）」「給食レシピの配信」「行事食の提供（毎月、県の伝統食（ソースカツやすいとん等）や全国の郷土料理、世界の料理などをその月の行事食として献立に取り入れる取組）」などに取り組みながら食育の推進を図っています。

本校でも、給食の時間はもちろん、学級活動、生活科、家庭科、社会科、道徳科、総合的な学習の時間等において、食に関する指導を計画的に行っています。また、学校給食センターと連携して栄養士さんから食に関する話を給食の時間にしてもらっています。

ご家庭でも食育について、できることから始めてみてはいかがでしょうか。

以下は群馬県のホームページに掲載されていたものです。紹介します。

- 家族や友人と楽しく食卓を囲む
- 自分の食事をチェックし、栄養のバランスを取るよう気をつける
- 1日3食きちんと食べる習慣を身につける
- 感謝の気持ちを込めて「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをする
- はしの正しい持ち方や、食器の正しい並べ方を身につける
- 庭や鉢植えなどで、野菜を栽培し、料理する
- 買い物の中で、新鮮で安心できる食材の選び方を身につける （群馬県HPより）



栄養士さんの話



給食委員会の活動



家庭科（調理実習）

※「茂呂小ブログ」で様々な教育活動等、学校の様子を写真で紹介しています

<http://isesaki-morosyou.blogspot.com/>

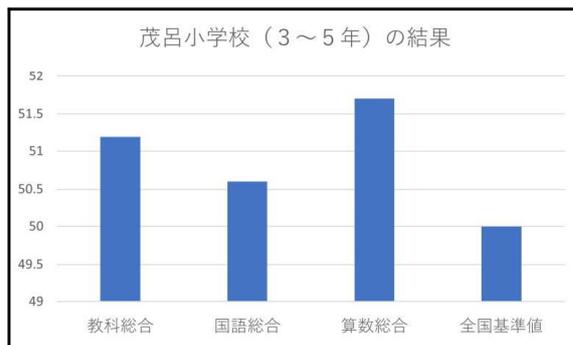
【NRT（標準学力検査）の結果と今後の対応】

4月に伊勢崎市市内すべての小学校で3年生から5年生を対象として実施した標準学力検査の結果についてお知らせします。

学校全体では全国基準値（偏差値50）をやや上回った結果となりましたが、昨年度と比べ、国語がやや下がりました。特に「書くこと」の領域に課題があることが分かりました。

例えば、文や文章を正しく書くこと（3年生）、漢字・ローマ字を書くこと（4年生）、目的に応じて工夫して書くこと（4、5年生）、と言う部分の正答率が低い状況でしたので、日々の授業等において改善に向かうように指導していきます。

漢字については、「読める」「書ける」、そして様々な文脈で「使える」ことが大切です。小中学校段階では自分の手を動かして一字一字書くことが必要です。パソコンなどICT機器の普及で、うろ覚えの漢字でも入力すれば機械が変換してくれるような時代になりましたが、やはり「基本が大事」です。自分で字を正しく書くことを大切にしていきたいと思います。



先月の二者面談でお渡しした個人別の結果表や学年だよりをご確認いただき、基礎学力の確実な定着に向けて、励ましの言葉かけ等をお願いします。

そこで「保護者の皆様からの子供たちへの有効な働きかけ」について紹介します。

文部科学省の全国学力・学習状況調査結果から、家庭で以下のような働きかけがある子供の学力は高いという傾向があるようです。参考にしてみてください。

- 学校や友達のこと、地域や社会の出来事など、家庭での会話が深い。
- テレビ・ビデオ・DVDを見る時間などのルールを決めている。
- テレビゲーム（スマートフォンを使ったゲーム等を含む）をする時間を限定している。
- 子供に本や新聞を読むようにすすめている。
- 子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。
- 自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- 地域や社会に貢献するなど、人の役に立つ人間になることを重視している。

【よい習慣は よい成果を生む】

義務教育である小中学校は大人になる準備をするところです。

昨年度も紹介しましたが、「時を守り、場を清め、礼を正す」ことはとても大切なことです。これは哲学者で教育者でもある森信三の教えとして広く知られている言葉ですが、このことを理解し実践することは、学校生活はもちろん、社会に出てからも必要なことであり、ぜひ身に付けておきたい習慣です。

年度始めの時期ですので、まず「時を守り」について、お子さんと一日の生活を振り返り、できているか確認してみましょう。

- 毎朝、自分で時間を決めて起きていますか
- 遅刻せずに登校していますか（8時10分には登校して朝の準備をしましょう）
- 5分前行動を意識して、チャイム着席ができていますか
- 家庭で時間を決めて勉強し、ゲームやインターネットをする時間を守っていますか
- 寝る時間を決めて、明日の準備をしてから寝ていますか

時間を守ることで、周りの人からの信用を得ることができます。なぜなら、時間をきちんと守ってくれる人は、約束も守ってくれるという共通点があるからです。